

署長等が語る

関東森林管理局山梨森林管理事務所長

米山忠幸

【冒頭】

当所長に赴任して2年目となりました。

私が着任した令和2年の4月は、新型コロナウイルス感染症の感染防止対策として全国に緊急事態宣言が発令された時期と会い重なった時期でした。前任の勤務地が東京都内であったこともあり、緊張感と不安感の二つを抱きながらの赴任だったことを覚えております。

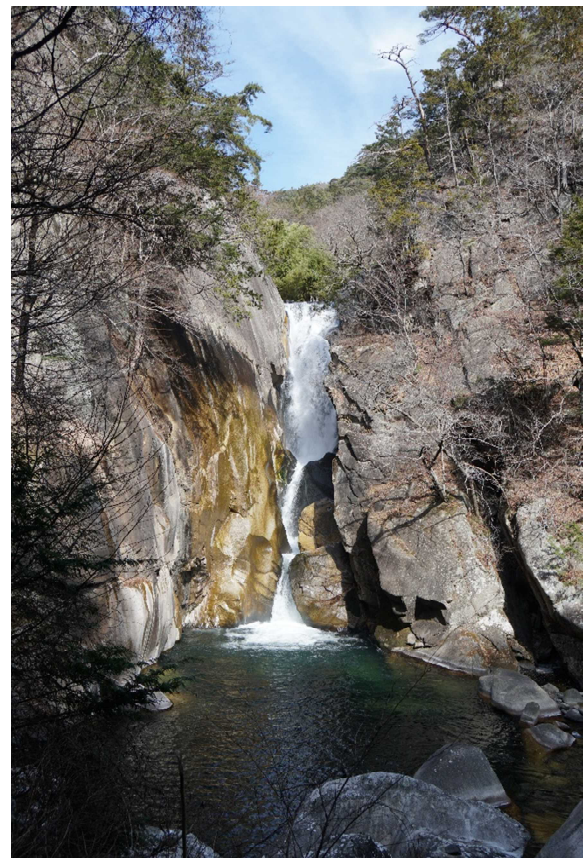
それから1年半も経過した未だに新型コロナウイルス感染症は縮小することなく、私達の生活環境や生活スタイルに大きな影響を与えています。マスクの着用などない生活環境、自由に飛びまわれる社会環境、加えて旨い酒が飲める居酒屋へ訪問できる日々が一刻でも早く戻って来てほしい気持ちでいっぱいです。

それでは、当所のご紹介をしたいと思います。

【山梨県の自然の魅力について】



昇仙峡（覚円峰（かくえんぼう））



昇仙峡（仙娥滝（せんがたき））

甲府盆地は、富士山をはじめ南アルプス山系、八ヶ岳、秩父山系、大菩薩嶺等の高く美しい山々に囲まれています。日本百名山のうち実に12座が山梨県にあり、長野県の30座に次いで2番目に多くなっています。山梨百名山というもの

も選定され、体力度と技術的難易度に応じたグレーディングがなされており、初心者でも自分のコンディションに合わせて登る山を選べる環境が整っています。

山が多いという事は森林も多く、県土面積に占める森林面積の割合は78%と、全国有数の高い森林率となっています。標高差が大きいこともあり、植生も実に多様です。

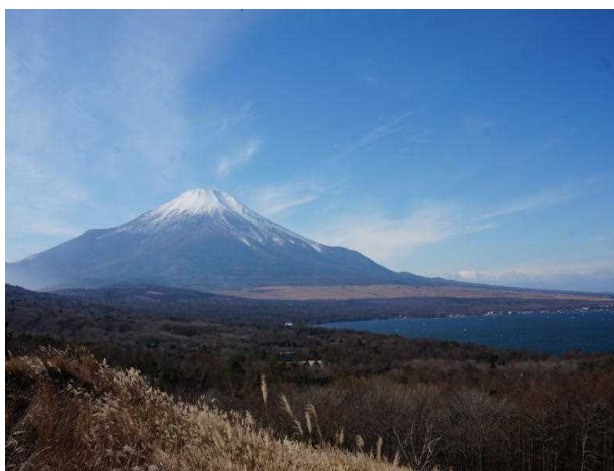
また、これらの山々に面して、富士五湖や昇仙峡、清里、西山溪谷といった風光明媚な景勝地がいくつも存在しており、四季折々、場所それぞれに違った美しい風景が楽しめます。

余談ですが、山梨県は海なし県という自虐的な冗談を聞くことがあります。しかし、しょっぱい塩水がないだけで、山と森に育まれた美味しい真水はふんだんにあります。ミネラルウォーターの出荷額は全国第一位であり、東京都民、神奈川県民、静岡県民にとって重要な水源林が存在しています。

<富士山>

第一に甲府から見て南の方、静岡県境には、日本の象徴のひとつでもある富士山があり、これが日本最高峰であることは知らない人はいませんね。平成25年に世界文化遺産に登録されたことは、まだ記憶に新しいところです。

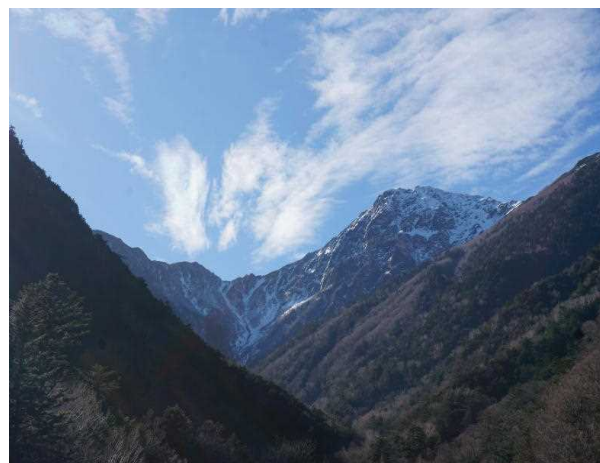
静岡県側は静岡森林管理署の管轄区域で大半が国有林ですが、山梨県側はほとんどが県有林で、残念ながら国有林はほとんどありません。わずかな国有林の管理と、公益財団法人オイスカが主催する「富士山の森づくり」推進協議会に参加して、県有林での森林復旧活動に協力しています。



山中湖パノラマ台からの富士山

<南アルプス>

西の方の長野県や静岡県との境には南アルプス（赤石山脈）が横たわり、この北岳は日本第2位、間ノ岳（あいのだけ）は近年の再測量により、北アルプスの奥穂高岳と並んで第3位であることがわかりました。日本列島は世界でも最も激しく地殻変動の影響を受けている地域ですが、その中でも南アルプスは、西に中央構造線、東の山梨県側には糸魚川ー静岡構造線と日本の2大構造線（断層）に挟まれて、今でも年間4mm程度の隆起を続けています。



広河原から見た北岳

<八ヶ岳連峰>

更に北西の長野県境には八ヶ岳連峰。諏訪地域で産出する黒曜石や山梨の水晶は、狩猟生活を主体としていた旧石器時代から切れ味鮮やかな刃物やヤジリとして日本中に流通していたことがわかっており、その後の縄文時代にかけて、数多くの遺跡が発掘されていますが、この山麓は日本で最も日照時間が長い地域であることも、厳しい寒冷期に人が集まっていたことと何か関係があるかもしれません。山梨の自然の魅力 この縄文遺跡を巡ることも山梨での週末の楽しみのひとつです。



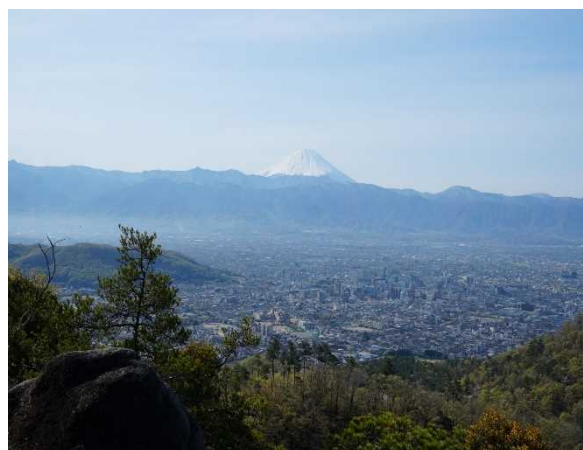
山麓からの八ヶ岳

<その他>

このほか、東京都、山梨、埼玉及び長野県の1都3県の境にまたがる甲武信ヶ岳（こぶしがたけ）は、令和元年6月19日にユネスコエコパークに登録されました。総面積は190.603ヘクタールであり、当所管内の甲府地区の国有林はすべて登録地となっております。

ユネスコエコパークとは、正式名を生物圏保存地域といい、ユネスコ人間と生物圏計画の枠組みに基づいて、ユネスコによって国際的に認定された地域です。

日本では、親しみをもってもらうために「ユネスコエコパーク」と呼んでいます。



八王子山から望む甲府盆地

【山梨県の県有林について】

山梨県内には34万7千haの森林がありますが、そのうち46%の15万8千haが県有林となっており、その割合の多さは他県に類を見ないものとなっています。これらは、明治時代の末期に相次いだ大水害の復興に役立てるため、明治44年、明治天皇が御料地を山梨県へ御下賜されたものであり、「恩賜林」と呼ばれています。

恩賜林成立までの経緯を郷土史等で調べると、単に陛下が被災した県民を哀れんで…というだけの話ではありませんでした。明治政府が山林原野の地租改正を開始し、明治14年の林野官民有区分によって、農民の入会地慣行があった山林が官有地化され、明治22年、これらの全てが皇室財産である御料地に編入さ



甲府城に聳える恩賜林記念碑と左手前は記念館

れて入会地慣行が制限されたのですが、こうした措置には県民の強い反発があったようです。

そのような中で発生した2度の大水害がトリガーとなって、県を挙げて御料地の無償還付誓願の運動が実施されており、恩賜林は、山梨県民が自らの手で明治政府から取り戻した財産と言えるのかもしれませんが。

現在、これらの恩賜林は、山梨県庁や各恩賜林組合等により管理経営がなされており、国内の公有林として最初にFSC森林認証を取得しています。

【山梨県の国有林について】

先に述べた恩賜林成立の経緯から、山梨森林管理事務所が所管する国有林の面積は、4,667haと少なく、県内の森林面積に占める割合もわずか1%程度です。

しかしながら、主として次の三つの地域に分布している当所の国有林は、それぞれに特徴があり、なかなか魅力的です。

一つ目の甲府市の国有林は、市街地から北に4～5kmの場所にあり、古くから市民に「裏山」と呼ばれて親しまれてきました。このため、市民の憩いの場として活用されることを期待してレクリエーションの森に設定しており、国土保全や木材生産といった森林の機能の発揮に配慮しつつ、森林にふれあえる場として管理しています。

林内には遊歩道が整備されており、季節を問わずハイキングや軽登山が楽しめます。中でも、山梨百名山の1つとなっている要害山には、信玄公の父、信虎が敵の侵攻に備える詰城として築いた要害城の遺構が残り、頂上には信玄公誕生之地の碑があって、見所の一つとなっています。要害山のほかにも、苔むした石仏達がひっそりと佇む祠など隠れた名所があります。

また、山梨森林管理事務所では、甲府市内の複数の学校と「遊々の森」の協定を結び、身近な国有林を森林環境教育のフィールドとして提供しており、各校が森林教室や体験林業等の活動の場として活用しています。



要害山

二つ目は、富士吉田市にある諏訪森という大変見事な高齢級アカマツ林です。諏訪森は、「雪代」という富士山の雪解けに伴う土砂災害から下流部の集落や畑を守るため、寛永年間（1624年～1644年）に植栽されたとの記録が残っています。特別名勝富士山に含まれているほか、富士山世界文化遺産の構成要素である吉田口登山道の一部となっています。

近年、松くい虫被害のまん延により、全国的にアカマツ大径木のまとまった林分が少なくなっており、諏訪森は、学術・歴史・文化的に大変価値が高く、適切に守っていかねばならないアカマツ林であることから、松くい虫被害を未然に防止する薬剤の樹幹注入を実施しています。

また、現在の諏訪森は、時代の変化によって林内の下草・枝葉・枯木が燃料や肥料として利用されなくなり土壌が肥えて、アカマツ以外の広葉樹などが繁茂し林内が暗くなっています。



200年生以上のアカマツ

そのために、アカマツの天然更新や後継樹の育成などに取り組んできております。現在では、多数のアカマツ稚樹の発芽が確認されており、後継樹として生育するよう保護しつつ育成を図っているところです。

三つ目は、南部町と身延町の国有林です。静岡県に近く、海洋性気候の影響を受けて、比較的温暖で年間の降水量も多い地域であることから、優良なスギとヒノキの人工林が育っています。当事務所における主力の事業地となっています。

本地域では、平成25年3月に山梨県峡南林務環境事務所、国立研究開発法人森林研究・整備機構森林整備センター甲府水源林整備事務所、身延町森林組合及び南部町森林組合並びに当森林管理事務所の5者で「身延・南部地域森林整備推進協定」を締結しています。同協定は、民有林と国有林が組織の垣根を越えて連携し、隣接するお互いの森林をより横断的・合理的な路網でつなぎ、分散している小規模な森林の団地化や森林施業の集約化を進め、効率的に森林整備や地域材の利活用を促進することを目的としています。現在は、隣接する民有林等と一体となった路網の整備、計画的な間伐の実施を進めるために連携した森林整備を計画的に実施する取組を行っています。



高性能林業機械による低コスト化に取り組む

【野呂川の民有林直轄治山事業について】

南アルプス山系は、糸魚川ー静岡構造線と中央構造線に挟まれて、断層及び地層のねじれ等を受けており、大変に崩れやすい地質となっています。

昭和57年災害直後の状況(野呂川地区・広河原・西ゴウ口沢)



山梨県からの要請を受けて、当所が昭和34年度から国直轄の治山事業を実施している野呂川地区(南アルプス市)の県有林は、南アルプス山系の北岳を源流とする早川支流野呂川の流域にあり、地質は脆弱です。昭和34年と昭和57年の大水害等により被害を受けた約9千haのエリアを対象に、60年近く事業を積み重ねてきた結果、荒れていた沢の多くに緑が回復し、下流への土砂の流出量も少なくなってきました。

さらに、平成19年度から小武川湯沢地区(韮崎市)を追加し、野呂川地区と小武川湯沢地区の災害復旧事業を実施しております。

治山事業による復旧状況(大樺沢)



荒廃状況(S40)



工事実施後(S62)



現在の状況(R2)

【今後の山梨森林管理事務所での取組について】

全国の国有林において、林業の成長産業化と地方創生に向けて、施業の低コスト化、その民有林への普及に取り組んでいます。当所においては、平成28年度から間伐事業の安全性と効率性の向上を図るため、従来の伐採木を単木的に選定して点状に抜き伐りする手法から、植栽列や斜面方向に沿って直線的に伐採列を決めて間伐する列状間伐という手法への転換を進めています。



上空から見た列状間伐実施箇所

列状間伐の実施によって、労働災害の原因となりやすい危険なかかり木の発生を抑えられるほか、伐倒・搬出コストの低減が期待できます。さらに平成29年度以降は、主伐と再造林の一貫作業による施業の低コスト化にも取り組んでいます。従来は、「伐採・搬出」と「地拵え・植付け」を別々の事業として、時間をおいて発注していました。これらを一貫の作業としてまとめて契約し、伐採・搬出時に用いる機械で地拵えを一緒に行うとともに、裸苗よりも植栽の季節的制限が少なく作業効率が良いコンテナ苗を機械で現場へ運んで植栽することで、大幅な作業効率の向上と労力軽減が期待できます。



列状間伐の林内（森林作業道）

更なる低コスト化に向けて、植栽する苗木の本数を、現地の地力に応じて従来の3千本/haから2千本/haへ見直すことや、造林地の下草の繁茂状況に応じて下刈り回数を必要最小限に抑えることにも取り組んでいきたいと考えています。

これらの取組が民有林にも広く普及していくよう、山梨県庁をはじめ、関係する機関や事業者等と連携を取りながら、施業の低コスト化をテーマとした技術交流会の実施等に取り組んでいきたいと考えています。

また、近年、山梨県でも大きな問題となっているシカによる森林被害に対応するため、当所では、平成28年度からシカの捕獲事業を始めました。事業の検討段階から、研究者や県・市町村の職員等の関係者と協議を行い、地域のニーズを踏まえて甲府市と山梨市の国有林を対象エリアとし、捕獲方法は足くくりわな猟を用いました。

現在では、南部町の国有林を対象としたエリアを追加して2地区において、シカの捕獲事業を実施しています。これまでの成果などを踏まえて、より効果的なわなの設置方法や場所等を検討し、捕獲の精度を高めながら継続的に事業を実施して行く予定としています。

他方、令和2年度の山梨県内でのナラ枯れ被害は過去の67倍となり、国有林内でも南部町国有林内で初めて確認されました。

このことから、ナラ枯れ被害木の全量駆除を目指し、立木くん蒸処理を実施しました。しかし、その後更にナラ枯れ被害木が確認されたことから、職員実行による被害拡大防止処置を行いました。

今年度もナラ枯れ被害地が拡大しているため、本局と調整を図るなかで山梨県とも連携してナラ枯れ被害木の早期処理などに取り組んでいきます。



足くくり罠捕獲の実施



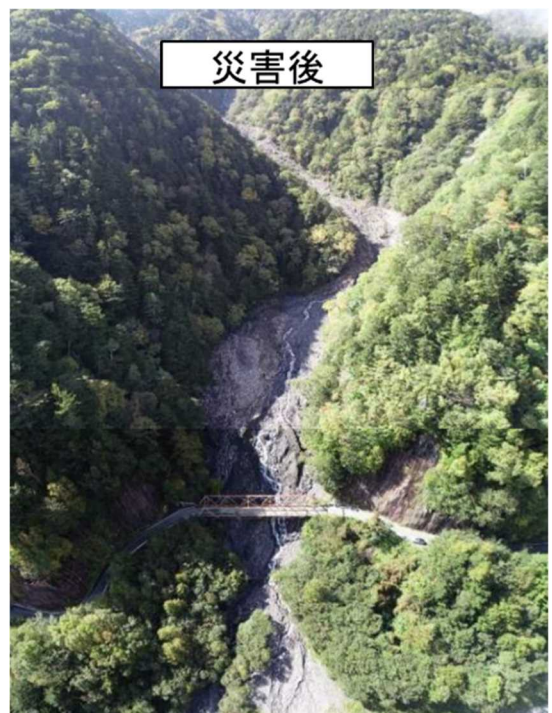
職員による粘着シート巻き付け作業

さらに、昭和34年から実施する野呂川地区民有林直轄治山事業は概ね、順調に進捗してきたところですが、令和元年10月に発生した台風19号の被害により「小樺沢」「ミヨシ崩」において甚大な被害が発生しました。令和4年度での計画期間内に完了が困難となったことから、全体計画を変更し、令和9年度まで期間延長を実施することとなり、引き続き山梨県と連携して山地災害の復旧に取り組みます。

令和元年東日本台風被害箇所（小樺沢）



災害前



災害後

令和元年東日本台風被害箇所（ミヨシ崩）



【むすびに】

以前から当所には、風林火山のオマージュで山梨森林管理事務所の所訓があります。

所訓の主旨は、ワークライフバランスを重視して家族と過ごす時間や余暇時間（趣味を行う時間）を十分に確保しつつ、メリハリをつけて仕事を頑張り、新しいことにも情熱を持って取り組み、安全意識の高揚に日々努める山梨森林管理事務所職員を目指して作成されたもののようです。

毎週の水曜日と金曜日の定時退庁日には、所内に掲げて、定時退庁の呼び掛けに活用しています。

